

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第9章 その他の疾病対策等

第1節 感染症

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康危機管理課

1 課題に対する平成25年度の実績

(1) 感染症対策	
	→神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画を、政府行動計画に基づき作成し、県内の対策の総合的推進及び、措置等を規定した。(平成25年8月) →新型インフルエンザ等に係る帰国者・接触者外来の指定を行った。(平成26年8月現在19医療機関) →感染症にかかる医療を提供する体制として、感染症指定医療機関の指定をしている。(第一種感染症指定医療機関2床 第二種感染症指定医療機関 72床)
(2) エイズ対策	
	→NPOと協働し、セクシュアルマイノリティを対象としたHIV検査を実施した。(10名) →横浜市立大学附属病院協力の下、訪問介護事業者等を対象とした研修を実施した。(5名)
(3) 結核対策	
	→私立学校や社会福祉施設等に対し定期の健康診断にあたっての補助を行った。(115施設) また、患者発生時においては、積極的に接触者健診を実施した。(延べ1,208名) →服薬支援について、患者に直接面会を図るとともに、登録患者全員を対象として実施するよう要綱改正を行った。(平成25年 新登録結核患者数1,353名)
(4) 予防接種の推進	
	→風しん非常事態宣言 ＜概要＞ - 平成25年4月16日定例会見で知事が「風しん非常事態」を宣言、市町村へ補助金の活用による風しん予防接種費用の助成について、積極的な検討をするようお願いをした。 - 県の呼びかけ等により、県内全市町村が風しん予防接種費用の助成を行い、県は当該費用の3分の1の補助を行った。
(5) 神奈川版ACIPの設置	
	→神奈川県予防接種研究会の設置 ＜概要＞ - 平成25年9月9日、神奈川県予防接種研究会の設置について記者発表。9月11日、第1回研究会開催。議論すべきテーマを風しんとした。 - 平成26年11月20日、第2回研究会開催。県の風しん対策等について議論された。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24 年度	H25 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 感染症対策

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	新型インフルエンザ等の感染症対策について、庁内の調整はもとより、政令市等保健所設置市との会議や、有識者による研究会を開催して検討をすすめ、神奈川県新型インフルエンザ等対策行動計画を作成した。当該計画には、市町村が市町村行動計画を、指定地方公共機関が業務計画を作成する際の基準となるべき事項等を定めた。
評価理由	関係機関との連携した危機管理体制の整備について、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組み の方向性	引き続き、感染症のまん延防止に関する事項の実施と、感染症にかかる医療を提供する体制の確保について関係機関等と連携を図っていく。

(2) エイズ対策

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	・セクシュアルマイノリティに配慮した HIV 検査を実施できた。 ・5 日間に渡り、病棟見学やカンファレンスへの参加など、内容の充実した研修を実施することができた。
評価理由	・セクシュアルマイノリティを対象とした検査も訪問介護事業者等を対象とした研修も試験段階であるものの、狙い通りの効果を得ることが出来るなど、課題解決に向けて順調に進捗している。
今後の取組み の方向性	・今後、両事業とも更なる検証を進め、事業を本格化させるため、検証データを蓄積していく。

(3) 結核対策

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	補助を利用して計 27,483 名が健康診断を実施し、異常所見の認められる患者を 4 名発見するとともに、接触者健診においても発病の恐れがある者を含め 39 名発見し、早期の医療機関受診へと繋げることができた。

評価理由	平成 25 年の県全体での新規登録者数は、若干ではあるものの 1,395 名から 1,353 名への減少が認められ、4 年連続での患者数の減少となるなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取り組みの方向性	引き続き、定期の健康診断及び患者発生時における接触者健診等の積極的な推進を図るとともに、服薬支援については、手引きを作成することで円滑な事務の実施を図る。

(4) 予防接種の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	風しん予防接種助成により、82,701 人もの県民が風しん予防接種を受けた。
評価理由	風しん予防接種助成の効果等により、現在、風しんの流行は沈静化している。
今後の取り組みの方向性	平成 26 年度からは風しん撲滅作戦として、風しん予防接種事業費補助、風しん抗体検査事業、風しん対策広報戦略事業を実施している。

(5) 神奈川版 A C I P の設置

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	県の風しん対策の方向性が示された。
評価理由	平成 26 年度からの風しん撲滅作戦の展開につながった。
今後の取り組みの方向性	喫緊の課題となっている予防接種について議論を行うとともに、予防接種制度の課題や予防接種の実施上の課題について、議論を行い、必要があれば、国に提案等を行う。

4 総合評価

評価	評価理由
A	感染症の課題については、いずれについても、課題解決に向けて順調に進捗している。

5 特記事項

--